

目次

頁	表題	担当	目標番号
1. 地域デザイン科学部			
1	1 遠距離介護における高齢者の意思を尊重したケアの方法の会話分析	コミュニティデザイン学科 福祉会話分析研究室	3
1	2 地域の鳥獣問題に対応できる人づくり	地域生態学 ランドスケープ研究室	4,15
1	3 道具は 道に 具(そな)えるもの	コミュニティデザイン学科 文化マネジメント研究室	4
1	4 耳を澄ましてプロモート	コミュニティデザイン学科 文化マネジメント研究室	9
1	5 公正な公共調達・入札契約を見張る眼力	コミュニティデザイン学科 公共マネジメント研究室	9,11,12
1	6 日本の先住民族アイヌの文化・歴史に関する 教育プログラム開発	コミュニティデザイン学科 社会教育研究室	10
1	7 地域公共交通の運行支援と事業評価	コミュニティデザイン学科 公共マネジメント研究室	11
1	8 命のリレーの第一走者(住民)の力、その能力を引き出す社会[関係]資本	コミュニティデザイン学科 公共マネジメント研究室	11,12
1	9 インナーサバードにおける空き家のコミュニティ活用モデルの検討	コミュニティデザイン学科	11,12
1	10 住民自治組織の再編とサービス資源開発	コミュニティデザイン学科	11,3
1	11 地域で得する地球温暖化対策のススメ	コミュニティデザイン学科 公共マネジメント研究室	13,11,12
1	12 地域の食資源を活用した食教育プログラムの開発	コミュニティデザイン学科 食生活学研究室	15,4,2
1	13 2020年東京五輪とSDGs	コミュニティデザイン学科 地方自治研究室	15
1	14 地域の熱エネルギーを活かす	建築都市デザイン学科 建築環境研究室	14
1	15 より安全・安心な建築物を目指して ～鋼構造建築物の耐震性能および接合部性能の評価と向上～	建築都市デザイン学科 建築構造研究室	11
1	16 歴史的建造物に関する調査・研究を通じたまちの価値の創出	建築都市デザイン学科	11,12

目次

頁	表題	担当	目標番号
1	17 地域の産業遺産と環境を活かす	建築都市デザイン学科 建築環境研究室	11,13
1	18 地域の立地と気候条件を活かす	建築都市デザイン学科 建築環境研究室	11,13
1	19 センシング・モニタリングによって建築工事の安全性を高める	建築都市デザイン学科 建築材料研究室	11
1	20 コンクリート製造工場のエネルギー消費・資源消費を把握し、環境負荷の低減を図る	建築都市デザイン学科 建築材料研究室	12
1	21 建築・都市の低炭素化	建築都市デザイン学科 建築環境研究室	12,13
1	22 地域材活用住宅の普及支援のためのラベリング	建築都市デザイン学科	15,9
1	23 スラグ骨材のコンクリート材料への適用に関する研究	社会基盤デザイン学科 材料研究室	9,11,15
1	24 地域一体となった防災の推進	社会基盤デザイン学科 マネジメント研究室	11,13
1	25 気候変動に適応した水害対策	社会基盤デザイン学科 流域デザイン研究室	11,13
1	26 地球と地域にやさしい コンクリート材料の開発	社会基盤デザイン学科 材料研究室	11,13,12
2. 国際学部			
2	1 「グローバル人材」の育成のためのプログラム	国際学科	ALL
2	2 国際キャリア教育プログラムとは	国際学科	ALL
2	3 国際キャリア実習	国際学科	ALL
2	4 HANDSプロジェクト(外国人児童生徒支援事業)	多文化公共圏センター	3,10,16
2	5 多文化公共圏センター事業	多文化公共圏センター	ALL
2	6 環境と国際社会(基盤教育)	国際学科 高橋若菜	ALL

目次

頁	表題	担当	目標番号
2	7 環境と国際協力(国際学部)	国際学科 高橋若菜	ALL
2	8 環境と国際協力演習(国際学部)	国際学科 高橋若菜	ALL
2	9 地球環境政策論(国際学部)	国際学科 高橋若菜	ALL
2	10 ジェンダー論(バーバラ・モリソン先生担当:国際学部)	国際学科 バーバラ・モリソン、高橋若菜	ALL
2	11 「環境国際規範のパラダイム・シフトと国内受容比較～欧州とアジアを事例として」(科研費基盤B 特設グローバルスタディーズ 研究代表者)	国際学科 高橋若菜	7,8,9,11,12,13,15,16,17
2	12 福島原発震災に関する研究フォーラム(2015—)	国際学科 清水奈名子・高橋若菜・阪本公美子・重田康博・田口卓臣	3,4,5,,8,11,12,15,16,17
2	13 越境大気汚染の比較政治学	国際学科 高橋若菜	3,4,8,9,11,16,17
2	14 国際・専門科目「途上国経済発展論」「アフリカ論」基盤科目「アフリカ学入門」	国際学科 阪本公美子	1,10,12,8,9,4,17,23,5,16,6,7
2	15 東アフリカ(タンザニア)における在来知・在来資源に基づく生活改善	国際学科 阪本公美子	2,3,5,15
2	16 海外フィールドワーク演習(国際) 国際協力の課題と実際(農他)	国際学科 農業環境工学科	ALL
2	17 UU-TEA Project□JICA草の根技術協力支援事業)	国際学科 栗原研究室 農業環境工学科 福村研究室	4,10,5
2	18 グローバル・イシュー研究演習 I・II	国際学科 重田、阪本 留学生・国際交流センター 湯本	ALL
2	19 国際・専門科目「国際法」「国際人権論」基盤教育科目「国際化と人権」	国際学科 藤井広重	1,2,3,4,5,8,9,10,12,16,17
2	20 国際法演習(国際学部)、「International Humanitarian Law in Theory and Practice」(全学)他	国際学科 藤井広重	1,2,3,4,5,10,16,17
2	21 国際人権人道規範の地域社会における受容プロセスに関する研究	国際学科 藤井広重	1,2,3,4,5,10,11,16,17
2	22 アフリカにおける法の支配と国際刑事裁判所	国際学科 藤井広重	1,10,16
3. 教育学部			

目次

頁	表題	担当	目標番号
3	1 被災地の子どもの学びと遊びを支える	長谷川研究室	4
3	2 持続可能な開発の理解を支援するデジタルゲーム教材「里山Life・アドミンズ」	出口研究室	4
3	3 都市の気候と暮らし	地学研究室	11,13
3	4 児童養護施設の子供たちに、ものづくり体験の場を	技術分野	1,4
3	5 アジアの伝統工芸～漆を通じた交流活動～	工芸研究室(松島)	12,17
3	6 こどもの「まち」環境への興味を喚起する。	住環境・まちづくり研究室 (陣内)	11
3	7 学校で「まちづくり」学習を進める。	住環境・まちづくり研究室 (陣内)	11
3	8 ESDの担い手を育てる。	住環境・まちづくり研究室 (陣内)	4
3	9 最先端の環境教育プログラムへの参加	附属中学校(門澤)	4
3	10 障がいのある児童生徒へのより良い支援の在り方や具体的な支援方法を探る取組(1/5)	附属特別支援学校	4
3	11 障がいのある児童生徒へのより良い支援の在り方や具体的な支援方法を探る取組(2/5)	附属特別支援学校	4
3	12 障がいのある児童生徒へのより良い支援の在り方や具体的な支援方法を探る取組(3/5)	附属特別支援学校	4
3	13 障がいのある児童生徒へのより良い支援の在り方や具体的な支援方法を探る取組(4/5)	附属特別支援学校	4
3	14 障がいのある児童生徒へのより良い支援の在り方や具体的な支援方法を探る取組(5/5)	附属特別支援学校	4
4. 工学部			
4	1 近赤外光を用いた簡易な動脈硬化検査装置の開発	機械システム工学科 嶋脇研究室	3
4	2 鏡視下医療や福祉支援デバイスや手指の良好な巧緻動作支援	機械システム工学科 生体計測/福祉工学研究室	3,4

目次

頁	表題	担当	目標番号
4	3 摩擦制御や伝熱/断熱性に優れる機能表面で機械の効率を向上	機械システム工学科	13,9,17
4	4 省エネ機器の開発を通じたオープンイノベーションの構築	電気電子工学科 佐久間研究室	9,7,4
4	5 要素技術を積み上げレーザーを自作することでモノづくりを体感	電気電子工学科 東口研究室	9,4,8,7,12
4	6 次世代半導体デバイスの高集積化と低損失化のための短波長光	電気電子工学科 東口研究室	9,4,8,7,12
4	7 小型のファイバーベースの広帯域光源で産業から医療分野まで	電気電子工学科 東口研究室	9,4,8,7,12
4	8 エネルギー削減と高精度制御を両立する新パルス幅変調方式の開発	電気電子工学科 平田研究室	9
4	9 高速高精度位置決め制御技術の開発と産業応用	電気電子工学科 平田研究室	9
4	10 高出力超短パルスレーザーにより生成されたプラズマの応用	先端光工学専攻 湯上、大塚	9
4	11 金をナノサイズに微細化した粒子を使って生体関連物質を計測する	応用化学科 計測化学研究室	9,12,3
4	12 細菌感染症を予防する新しい材料の開発にむけて	応用化学科 加藤	3,6
4	13 磁気分離の活用による水の浄化技術の省エネルギー・低炭素・維持管理簡易化へのチャレンジ	応用化学科 水処理化学研究室	6,13,9,15,14,12
4	14 再生可能エネルギーおよびバイオマス有効利用法の開発	応用化学科 佐藤剛史研究室	12,9,7,15
4	15 再生可能エネルギー由来水素の貯蔵・輸送を実現する	応用化学科 触媒プロセス工学研究室	7,12
4	16 太陽光を駆動源とするバイオディーゼル燃料の製造を実現する	応用化学科 触媒プロセス工学研究室	7,12
4	17 光触媒やダイヤモンドを使って環境にやさしい技術を開発する	応用化学科 吉原研究室	3,7,6,9,11
4	18 電気化学技術を駆使しためっき・エッチング・電池技術の開発	応用化学科 吉原研究室	7,9,12
4	19 生物機能を持った材料を環境負荷の少ない原料から創る	応用化学科 超分子化学研究室	12,9,15

目次

頁	表題	担当	目標番号
4	20 養蜂用巣脾画像の解析による育房状態の自動分類法の開発	情報工学科 画像通信研究室	15,9
4	21 多様な被験者に適応した布地質感認知の視感・触感融合技術の開発	情報工学科 石川研究室	9,10,5
4	22 片頭痛患者の音過敏に対する心理生理的モデルと快適音空間の構築	情報工学科 石川研究室	5,3,9
4	23 新規無機化合物と機能性無機材料の開発	応用化学科 手塚研究室	9,7,4,13
5. 農学部			
5	1 温暖化に負けない、おいしいお米をたくさんとる	生物資源科学科 作物栽培学研究室	5,13,2
5	2 エネルギー作物「ダンチク」の環境ストレス耐性	生物資源科学科 作物栽培学研究室	7,5,13,2
5	3 作物生産に有用な遺伝子座を利用した栽培性の向上	生物資源科学科 作物栽培学研究室	2,9,12,15
5	4 体験的な学びから土壌が人類の生存の基盤であることを実感する	生物資源科学科 土壌学研究室	15,2,4,6,12
5	5 耕作放棄の進む里山の土壌や野生動物の利活用法の開発	生物資源科学科 土壌学研究室	15,2,9,12
5	6 苗立枯病の有機病害防除法の開発	生物資源科学科 比較農学研究室	15
5	7 浸水栽培によるトマトの生育増進効果	生物資源科学科 比較農学研究室	15,9,2
5	8 林床の養分コントロールで 放射性セシウムの山を助けたい	生物資源科学科 植物栄養・肥料学研究室	15,11
5	9 栃木県の地域資源「苦土石灰」を活用したい	生物資源科学科 植物栄養・肥料学研究室	9,15
5	10 観賞用モモ「SEEDピーチ」による環境美化	生物資源科学科 園芸学研究室	15,9
5	11 作物の根っこの見える化	生物資源科学科 植物生産環境学研究室	2,9,15
5	12 適切な食べ物の選択で健康を維持・増進する	生物資源科学科 栄養制御学研究室	3,2,4

目次

頁	表題	担当	目標番号
5	13 ウシの受胎率の向上をめざして！	生物資源科学科 動物育種繁殖学研究室	2,9,15,17
5	14 機能性新型野菜の開発で、健康社会を実現する	生物資源科学科 植物育種学研究室	3,15
5	15 企業・農家・消費者のための品種改良	生物資源科学科 植物育種学研究室	12,13,15
5	16 農作物をウイルス感染からワクチンで守る	生物資源科学科 植物病理研究室	15,2,9
5	17 迅速高感度植物ウイルス診断法の開発	生物資源科学科 植物病理研究室	15,2
5	18 殺虫剤抵抗性害虫の出現を防ぎ農作物を守る	生物資源科学科 応用昆虫学研究室	15,2,9
5	19 天敵を用いたハダニ管理技術の開発	生物資源科学科 応用昆虫学研究室	15,2,9
5	20 農村地域で発生するアブラム類とその生活環の解明	生物資源科学科 応用昆虫学研究室	15,9
5	21 より効率的な昆虫工場を作り出す	生物資源科学科 昆虫機能利用学研究室	9,3
5	22 食品廃棄物を低コストで機能性食品 素材化し、環境負荷の低減化を目指す	応用生命化学科 食品化学研究室	12
5	23 食品成分による生活習慣病やアレルギーの予防・改善	応用生命化学科 食品生化学研究室	3,9
5	24 竹粉施用による土壌中窒素固定細菌の活性化に関する研究	応用生命化学科 応用微生物学研究室	15,13
5	25 健康寿命延伸につながる素材の開発	応用生命化学科 生物化学研究室	3,12
5	26 畜産・海産廃棄物より機能性食品素材を開発する	応用生命化学科 生物化学研究室	12
5	27 スイッチ分子をつくり、細胞の色を変える	応用生命化学科 天然物有機化学研究室	9,3
5	28 きのご酵素を活用した新規素材開発	応用生命化学科 食品化学研究室	15,13,9
5	29 環境調和性に優れた木材防腐技術の開発	応用生命化学科 食品化学研究室	15,12,11

目次

頁	表題	担当	目標番号
5	30 体内時計, 季節繁殖の分子機構解析: 基礎から応用まで	応用生命化学科 生物有機化学研究室	9,2,3,14,15
5	31 生物多様性って何だろう?	応用生命化学科 生物有機化学研究室	15,14,4
5	32 国際協力の課題と実際(農他) 海外フィールドワーク演習(国際)	国際学科 農業環境工学科	ALL
5	33 UU-TEA Project□JICA草の根技術協力支援事業)	国際学科 栗原研究室 農業環境工学科 福村研究室	4,10,5
5	34 重力式点滴かんがいで 節水しながら安定した食糧生産を	農業環境工学科 Rural Development	2,1
5	35 栃木県特産の農産物の評価および食品の開発	農業環境工学科 食品流通工学研究室	9,3,15
5	36 水田のもつ多面的機能を評価し, 発揮させる	農業環境工学科 松井(宏)研究室	13,15
5	37 ホップやビールの香りを見える化する	農業環境工学科 生物環境調整学研究室	9,5
5	38 汚水浄化能力の高い微生物燃料電池の開発	農業環境工学科 生物資源環境工学研究室	7,9,15
5	39 ICTを活用したスマート畜産システムの開発	農業環境工学科 生物資源環境工学研究室	9,8
5	40 環境影響の少ない食料生産や消費につながる技術やしぐみを研究しています。	農業環境工学科 菱沼研究室	12,13
5	41 土壌を介した熱・物質の保持・輸送現象を解明する	農業環境工学科 土壌・生物環境物理学研究	15
5	42 だれもが、どんな時でも、安全・安心に農作業できるユニバーサルデザイン圃場の開発	農業環境工学科 農村計画学研究室	9,8,12
5	43 里山の生きものを守る	農業環境工学科 農村生態工学研究室	15
5	44 田んぼの生きものを守る	農業環境工学科 農村生態工学研究室	15
5	45 農地保全でサンゴを再生・保全 ～陸と海はつながっている～	農業環境工学科 農地・土壌工学研究室	15,14
5	46 熱帯泥炭湿地の保全による温室効果ガスの放出抑制	農業環境工学科 農地・土壌工学研究室	15,14

目次

頁	表題	担当	目標番号
5	47 放射性物質の動態と地域の復興	農業環境工学科 農地・土壌工学研究室	15,14
5	48 スマート農業を支える農業機械技術	農業環境工学科 圃場機械学研究室	9,2,3,8,12
5	49 連携型・持続型・共生型地域社会の形成を目指した農業政策転換と農業支援システムのあり方	農業経済学科 秋山研究室	1,2,9,8,11,13
5	50 中山間地域の農業・農村の活性化	農業経済学科 安藤研究室	11,1,2,10,11
5	51 日本農村の歴史的経験に学ぶ不平等・貧困の形成と解決策	農業経済学科 大栗研究室	10,1,8,9,16
5	52 地域社会・経済とフードシステムの持続的発展の両立に向けて	農業経済学科 神代研究室	8,2,10,12,11
5	53 世界各地の農業からベストプラクティスを見つけ出し、理解し、普及の糸口を探す	農業経済学科 斎藤研究室	17,4,8,10,16
5	54 農業・農村の多様な役割を評価し生かす仕組みづくり	農業経済学科 加藤研究室	15,17,13,12,3
5	55 健康で健全な農業生産・食料消費を実現する社会を考える	農業経済学科 児玉研究室	3,2,8,15,1
5	56 地域農業を維持する新技術の社会的効果と経営評価	農業経済学科 杉田研究室	8,9,15
5	57 ローカルフードシステムによる持続可能な生産と消費の実現	農業経済学科 西山研究室	12,2,11,15,17
5	58 流域によみがえる人と森林との新たな関係	森林科学科 森林政策学(山本)研究室	17,11,15,6,12
5	59 豊かな森林に根差し、安全・安定的に働ける場を創る	森林科学科 林研究室	8,15,11
5	60 森林資源をエネルギーとして利用する	森林科学科 森林工学研究室	7,15
5	61 樹木を病原菌から守る	森林科学科 森林資源利用学研究室	15,9
5	62 成長と材質に優れた樹木を探し出し木材生産に役立てる	森林科学科 石栗研究室	15,1
5	63 ニホンナシの水浸状果実の軽減技術の開発	附属農場 園芸生産技術学研究室(居)	15,9

目次

頁	表題	担当	目標番号
5	64 難発芽性花卉種子の発芽要因解明に関する生理学的研究	附属農場 園芸生産技術学研究室(居)	15,9
5	65 放牧を活用した資源循環型酪農による高品質生乳生産	附属農場 家畜繁殖生理学研究室	15,2,9
5	66 教育関係共同利用拠点農場としての教育活動	附属農場	4,9,17
5	67 水稻育苗箱全量基肥施用法	附属農場 作物生産技術学研究室	9,15
5	68 カバープランツを利用した水田畦畔管理技術の検討	附属農場 作物生産技術学研究室	9,15
5	69 地球気候変動に対応した栽培計画の見直し、提案	附属農場 作物生産技術学研究室	13
5	70 安全で新鮮な農産物を高品質で世界に展開する技術の開発	附属農場 農作業環境工学研究室	15,9,8
5	71 トマトの野生種が保有する優れた遺伝子を探索し活用する	附属農場	15,2,13
5	72 タマネギの可食部であるりん茎が肥大するメカニズムを解明する	附属農場	15,9,2,13
5	73 地域に適応したスギ品種の開発および広葉樹資源の育成	附属演習林 飯塚和也	15,12,13
5	74 世界標準の森林認証による持続可能かつ適切な森林経営	附属演習林 大島潤一	15,12,13
5	75 メダカをモデルとした脊椎動物の性差形成の分子機構解明	バイオサイエンス教育研究センター 分子遺伝子学研究室	15,9
5	76 メダカやミヤコタナゴの保全活動	バイオサイエンス教育研究センター 分子遺伝子学研究室	15
5	77 植物の力を活かした食料増産	バイオサイエンス教育研究センター 植物生理化学研究室	2,9,15,13
5	78 植物細胞を診断して作物の生育を制御する	バイオサイエンス教育研究センター 分子細胞生物学研究室	9,2,15
5	79 きのご類からの新規機能性物質の探索	バイオサイエンス教育研究センター 生物分子情報学研究室	3,9
5	80 ミジンコを利用して化学物質が生態系に与えるリスクを評価する	バイオサイエンス教育研究センター 環境生理学研究室	15,6,13

目次

頁	表題	担当	目標番号
5	81 根寄生雑草防除方法の開発	バイオサイエンス教育研究センター 天然物化学研究室	15,1,2,3
5	82 干ばつに強い作物を創出する	バイオサイエンス教育研究センター 植物化学遺伝子研究室	2,13
6. 留学生・国際交流センター			
6	1 マレーシア、サラワク大学で英語研修と課外学習	留学生・国際交流センター 留学生・国際交流課	4
6	2 国際インターンシップ	留学生・国際交流センター 留学生・国際交流課	8,4
6	3 外国人留学生の受け入れ	留学生・国際交流センター 留学生・国際交流課	4,10
6	4 グローバル教育(国際学部専門科目)	留学生・国際交流センター 湯本 浩之	4
6	5 ワークショップで学ぶ変わりゆく現代社会の中の私たち(基盤教育・総合系科目)	留学生・国際交流センター 湯本 浩之	4
6	6 Globalization and Society(全学科目・Learning+1)	留学生・国際交流センター 湯本 浩之	4
6	7 災害に強いコミュニティづくり(基盤教育)	留学生・国際交流センター 飯塚 明子	4,11,13
6	8 Risk Management(全学科目・Learning+1)	留学生・国際交流センター 飯塚 明子	4,11,13
7. 学生・教職員協働			
7	1 キャンパスマスタープランの策定	財務部施設課	11,12
7	2 環境系サークルと教職協働の取り組み事例(1/3)	ECHO/学務部	11,12
7	3 環境系サークルと教職協働の取り組み事例(2/3)	LOMO/学務部	11,12
7	4 環境系サークルと教職協働の取り組み事例(3/3)	C.C.S/学務部	11,12
7	5 男女共同参画の取り組み	男女共同参画室	5